

北九州市制60周年事業の検討状況について

1 概要

本市は、令和5年2月に市制60周年を迎える。地方創生の流れに加え、新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化の進展等により、移住を含めた地方都市への注目度はますます高まっている。そのような中、「60周年事業」を通じて、本市の自然・文化等の魅力、そしてSDGsやカーボンニュートラルの実現に向けた先進的な取組等を発信する。

また、60周年という暦が一周するこのタイミングで、新たな時代に向けた一年と位置づけ、本市の魅力をさらに高めていく。

2 期間

令和5年2月10日 ~ 令和6年2月9日

3 実施方針の方向性

- ・本市の強みであるSDGsの視点を入れ、New Uを通じた若者に向けた発信を行う。
同時に、若者の頑張る姿を他の世代の方が知ることによって全世代に効果を波及させる。
- ・北九州市の過去の歴史など(レトロ)と新しい価値(モダン)の融合により、本市の魅力を発信する。
- ・60周年を契機に、次の北九州に向けた未来志向の部分を打ち出していく。

4 キャッチフレーズ（現在検討中）

検討の視点

- ・ 若者をはじめ多くの世代が共感し、新たな時代に向けた表現とした。
- ・ やさしい日本語で普遍的な表現とするため、ひらがなを主体とした。
- ・ SNSでの発信を見据えた“#”ハッシュタグのつけやすさ、句読点をつけない誰もが読みやすい表現とした。

キャッチフレーズ 候補 1

みらい
つなぐ
北九州

北九州市の歴史、自然、文化、ものづくり、人など様々な魅力を次世代につないでいく。
また、60周年という一つの区切りを挟んで、社会の担い手を若い世代や未来につなぐという思いを込めたもの。

キャッチフレーズ 候補 2

めぐる
つくる
北九州

北九州市は「時代の循環」「自然の循環」「文化の循環」など様々な面で、過去から未来、人から人、世代から世代に受け継がれ、巡っている。
また、ものづくりのまち・北九州市として、今後の未来を創り上げていく、という思いを込めたもの。

キャッチフレーズ 候補 3

あたらし
なつかし
北九州市

伝統と革新を両立させる「ものづくりのまち」レトロとモダンが共存した街並みがいたる所にあり、新しい価値と懐かしい歴史が魅力的に融合する街・北九州市という思いを込めたもの。

5 主なイベント

- ・ 市制60周年記念式典(R5.2.10)
- ・ 北九州マラソン(R5.2.19)
- ・ ブレイキンワールドシリーズ(R5.2.24・25)
- ・ 全国「みどりの愛護」のつどい(R5.5～6)
- ・ 全国市議会議長会研究フォーラム(R5.10.25・26)
- ・ (仮称)北九州国際映画祭(検討中)
- ・ 市民公募事業(検討中)

6 冠事業など

- ・ 各区の事業や民間団体主催事業を60周年事業として実施
- ・ キャッチフレーズ、ロゴマークの設定

7 今後スケジュール（予定）

| | | |
|--------------|------------------------|-----------|
| 令和4年10月 3日 | 常任委員会報告(検討状況報告) | |
| 10月上旬～下旬 | 議会、若者などからの意見聴取 | |
| 11月 中旬 | 常任委員会報告(実施方針とキャッチフレーズ) | |
| 12月議会 | 補正予算計上 | |
| 令和5年 2月10日 | 市制60周年記念事業開始 | |
| 3月議会 6月議会 | 必要に応じ予算計上 | 随時記念事業を実施 |
| 令和6年 2月 9日 | 市制60周年記念事業終了 | |